

会 議 概 要

会 議 名	第1回 鶴岡市病院事業経営強化プラン策定懇談会
開 催 日 時	令和5年8月16日（水）午後7時00分～午後8時35分
開 催 場 所	鶴岡市立荘内病院 3階講堂
出 席 者	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形県庄内保健所長 蘆野吉和 ・鶴岡地区医師会長 福原晶子 ・鶴岡地区歯科医師会長 毛呂光一 ・鶴岡地区薬剤師会長 鈴木千晴 ・鶴岡市社会福祉協議会長 山木知也 ・(株)瀬尾医療連携事務所代表取締役 瀬尾利加子 ・慶應義塾大学環境情報学部教授 秋山美紀 ・(元) 鶴岡市長寿介護課長 菅原繁 <p>鶴岡市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業管理者 八木実 ・院長 鈴木聡 ・副院長兼看護部長 原田あけみ ・事務部長 佐藤豊 ・市健康福祉部長 佐藤繁義 <p>事務局</p> <p>(鶴岡市立荘内病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参事兼総務課長 齋藤匠 ・医事課長 土田信一 ・管理課長 長澤浩一 ・総務課課長補佐 栗田真智 ・総務課係長 和田里江 ・総務課専門員 富樫航平 <p>(湯田川温泉リハビリテーション病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務部長 大井泰 ・総務課長 高橋巧 <p>(鶴岡市健康福祉部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア推進室長 菅原青 ・地域包括ケア推進室主査 佐藤正
傍 聴 者	なし
議 題	<p>1 座長、副座長の選出（互選）について</p> <p>2 鶴岡市病院事業経営強化プラン策定について （鶴岡市立荘内病院経営強化プラン）</p>

結果等

1 座長、副座長の選出（互選）について

- ・座長に山形県庄内保健所長 蘆野吉和氏、副座長に鶴岡地区医師会長 福原晶子氏を選出

2 鶴岡市病院事業経営強化プラン策定について

（鶴岡市立荘内病院経営強化プラン）

（1）鶴岡市立荘内病院経営強化プランの骨子案について事務局より説明した。

（2）主な意見等

- 地域包括ケアは概念が漠然としているところがあるため、計画における地域包括ケアの定義を明確にした方が良い
- QOL を追求していくという姿勢を前面に出し、緩和ケアについて踏み込んだ記載内容としてはどうか
- 令和5年3月の市民アンケートの結果、荘内病院をあまりよく言わない方々は噂で判断していることが見え隠れしたため、荘内病院の中身を見ていただく、知っていただくことが重要ではないか。市民の医療や受診方法に関するリテラシーの向上を病院が主体となって取り組むのも良いのではないか。そのためには、地域医療連携室と病院の広報部門の強化が必要ではないか。
- 医師の時間外労働の上限規制により、今後、荘内病院の救急医療のレベルが維持できるのか不安である。
- 公立病院として必要なものは行政側で負担をしてでも整備することが必要ではないか。
- 経営強化プランの策定主体は鶴岡市になるのか。他の病院では市ではなく、病院が策定主体になっている場合もある。
【事務局回答】経営強化プランは自治体が策定するということが国から示されているため、策定主体は市になる。
- 施策の全体像がわかりづらい。基本方針や取組の柱を明確にして、市民にとってわかりやすいものにすべきではないか。
- 荘内病院の魅力的な部分、今後強化する部分を明確にして記述した方が良いのではないか。
- 経営強化のためには、病院だけでなく地域が一体となり連携していくことが重要であるため、このことについても記載すべきではないか。
- 荘内病院が行う市民向けの企画に対する参加者は実際に医療にかかっている60代以上の方が多い。中高生などの若い世代から理解を得ることも重要である。荘内病院が憧れの職場として意識してもらえるような取組を考えてはどうか。
- 経営的には、平均在院日数が重要な指標になる。平均在院日数の短縮は、診療単価の上昇に繋がるだけでなく、高齢者の利用者にとっても今後のフレイルの悪化を防ぐ意味もあり、非常に重要になってくる。
- 医師確保に関して、自治医科大学の先生から来ていただければありがたい。
- 荘内病院が、小中高生にとって憧れの場になって、将来、医師、看護師として働いてくれるような、また魅力ある医療の提供により人を集めていくようなことも記述する

とよいのではないか。

- 今まで以上に機能分化を明確に打ち出して、周知することが大事ではないか。
- 市役所内に、病院局、医療局のような部署ができると市全体の医療を考えていけるようになるのではないか。
- 鶴岡・田川3病院地域包括ケアパスのように、機能分化を明確にして、他病院との連携を強化することは、結果として経営改善に繋がる、このことも計画に盛り込んだ方がよいのではないか。
- 荘内病院だけがやるというよりは地域が一丸となって、そこに住民も協力して一緒にやっていくというムーブメントに繋がるような経営強化プランになれば良い。
- オンライン診療の需要が高まり、今後、かかりつけ医が地元でなく遠方の医療機関となることもあり得るのではないか。そうした場合の紹介の仕組みだったり、荘内病院としてのオンライン診療対応といったことも考えていく必要が出てきているのではないか。